

1. シンポジウム

開催日	テーマ & 演題	コーディネータ & 講師
平成17年 2月25日(金) 参加者 85名 S14	「RNA機能研究の最先端」 —演題— ・生殖細胞の形成に関わるRNA ・機能性RNAにおける転写後修飾の役割と疾患との関係 ・植物における2つのRNAi経路：RNA分解とターゲットDNAのエピジェネティックな修飾 ・ショウジョウバエにおけるRNAi/miRNA遺伝子発現抑制機構の作用機序 ・RNA核外輸送の多様性とその制御機構 ・IRES依存的翻訳開始とその制御	京都大学ウイルス研究所遺伝子動態研究部門 情報高分子化学研究分野 教授 大野 睦人 徳島大学ゲノム機能研究センター 分子機能解析分野 助教授 塩見 美喜子 —講師— 自然科学研究機構岡崎統合バイオサイエンス センター基礎生物学研究所 教授 小林 悟 東京大学大学院工学系研究科 化学生命工学専攻 助教授 鈴木 勉 奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 教授 島本 功 徳島大学ゲノム機能研究センター 分子機能解析分野 助教授 塩見 美喜子 京都大学ウイルス研究所遺伝子動態研究部門 情報高分子化学研究分野 教授 大野 睦人 東京大学大学院医学系研究科 微生物学分野 教授 野本 明男

2. セミナー

開催日	テーマ & 演題	コーディネータ & 講師
平成16年 9月7日(火) 参加者 110名 U1	「タンパク質のクオリティコントロールとその破綻」 —演題— ・分子シャペロンによる蛋白質の変性・凝集の阻止と回復 ・小胞体ストレス感知システムとその可視化 ・小胞体の品質管理機構—細胞内メカニズム— ・異常タンパク質を処理する細胞内装置 ・樹状細胞による抗原クロスプレゼンテーションの機構 ・運動ニューロン疾患の病態と治療 ・ミスフォールド蛋白質とパーキンソン病	京都大学再生医科学研究所 細胞機能調節学分野 教授 永田 和宏 奈良先端科学技術大学院大学 遺伝子教育研究センター教授 河野 憲二 —講師— 東京工業大学 資源化学研究所 生物資源部門 教授 吉田 賢右 奈良先端科学技術大学院大学 遺伝子教育研究センター教授 河野 憲二 京都大学再生医科学研究所 細胞機能調節学分野 助教授 細川 暢子 東京都臨床医学総合研究所 分子腫瘍学研究部門 副所長 田中 啓二 (株)医学生物学研究所 伊那研究所 所長 矢原 一郎 名古屋大学大学院医学系研究科細胞情報医学 専攻神経内科学 教授 祖父江 元 理化学研究所 脳科学総合研究センター 運動系神経変性研究チーム チームリーダー 高橋 良輔

<p>9月28日(火) 参加者 140名 U2</p>	<p>「ヒト安全性予測システムの現状と今後の展開：ヒトSNP・蛋白質解析、動物モデル、in silico解析」</p> <p>—演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新医薬品の安全性予測と臨床試験のあり方 ・トキシコゲノミクスプロジェクトの特徴と進捗 ・新しいたんぱく質科学の構築を目指して ・トランスポーターを利用した医薬品誘発副作用の回避：in vitro実験、遺伝子改変動物を用いたin vivo実験に基づく予測 ・PETによる薬物動態解析—11C-phosgeneによる標識薬剤合成装置 ・薬物動態・安全性試験におけるヒト肝細胞キメラマウスの有用性 ・特異体質性の薬物毒性発現機構に関する考察 ・ヒト臓器・組織を用いた安全性評価システムの開発 ・タンパク質の表面物性の類似性にもとづく機能予測 ・薬物による心臓副作用in silico予測 	<p>大阪大学大学院医学系研究科 情報薬理学講座 教授 倉智 嘉久 東京大学医学部附属病院 薬剤部 教授 鈴木 洋史 —講師— 東京都多摩老人医療センター名誉病院長、医薬品医療機器総合機構 顧問 上田 慶二 国立医薬品食品衛生研究所 所長 長尾 拓 国立循環器病センター 名誉所長 ヒューマンサイエンス振興財団 特別参与 松尾 壽之 東京大学大学院薬学系研究科 教授 杉山 雄一 大阪大学大学院医学系研究科 教授 畑澤 順 金沢大学大学院医学系研究科 教授 横井 毅 三共株式会社 薬剤動態研究所 所長 池田 敏彦 大阪大学大学院医学系研究科 教授 野村 大成 大阪大学蛋白質研究所 客員助教授 木下 賢吾 大阪大学大学院医学系研究科 教授 倉智 嘉久</p>
<p>10月19日(火) 参加者 140名 B17</p>	<p>ブレインサイエンスシリーズ 第17回 「統合失調症：分子から治療まで」</p> <p>—演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合失調症の分子薬理学的解析：ドーパミン受容体およびNMDA受容体作用薬を用いたアプローチ ・PACAPノックアウトマウス—新しい精神機能障害モデル ・DISC1に結合する蛋白質とその機能的修飾 ・統合失調症脆弱性遺伝子ディスバインジンの関連解析と神経細胞における機能解析 ・統合失調症の神経幹細胞機能異常仮説 ・統合失調症関連表現型の遺伝子解析 	<p>大阪大学大学院医学系研究科 教授 遠山 正彌 浜松医科大学解剖学第一 教授 佐藤 康二 —講師— 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 精神行動医学分野 教授 西川 徹 大阪大学大学院薬学研究科 生体機能制御学講座 教授 馬場 明道 大阪大学大学院医学系研究科ポストゲノム 疾患解析学講座 助手 片山 泰一 国立精神・神経センター神経研究所 疾病研究第三部 室長 橋本 亮太 浜松医科大学 精神神経医学講座 教授 森 則夫 理化学研究所 脳科学総合研究センター 分子精神科学研究チーム チームリーダー 吉川 武男</p>
<p>平成17年 2月18日(金) 参加者 162名 U3</p>	<p>「動脈硬化最前線 in メタボリックシンドローム—異なった側面よりの病態解明と治療法の開発」</p> <p>—演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックドミノと心血管内分泌代謝学 ・メタボリックシンドロームと心機能不全・心不全 ・メタボリックシンドロームと動脈硬化症 ・動脈硬化の新たな診断と治療 ・骨髄由来細胞の動脈硬化治療への展望 ・循環器領域の再生医療の展望 	<p>大阪大学大学院医学系研究科・生命機能研究科 教授 下村 伊一郎 財団法人 住友病院 院長 松澤 佑次 —講師— 京都大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科 助教授 伊藤 裕 国立循環器病センター 心臓血管内科 部長 北風 政史 佐賀大学 医学部 循環器・腎臓内科 教授 野出 孝一 京都大学大学院医学研究科 循環器内科学 講師 久米 典昭 東京大学大学院医学系研究科 先端臨床医学 開発講座 客員助教授 佐田 政隆 名古屋大学大学院医学系研究科 循環器内科 教授 室原 豊明</p>

<p>3月7日(月) 参加者 63名 U4</p>	<p>「生体・細胞シミュレーションの実用化に向けて」</p> <p>—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メタボローム解析と代謝シミュレーションの産業応用 ・ダイナミック細胞モデルの実用性、心筋細胞(Kyoto)モデル ・心筋細胞における興奮-収縮-エネルギー代謝関連シミュレーション ・心臓興奮の神経制御シミュレーション ・生体シミュレーションの医療への応用：E-CELLによる糖尿病病態シミュレーションモデルの構築と人工知能型糖尿病診療支援システムの開発状況 ・メタボローム解析技術と代謝シミュレーションによる新しい細胞機能制御機構の探索 	<p>慶応義塾大学先端生命科学研究所 所長 ヒューマン・メタボローム・テクノロ ジーズ(株) 取締役 富田 勝 京都大学大学院医学研究科 細胞機能制御学 教授 野間 昭典 —講 師— 慶応義塾大学先端生命科学研究所 所長 ヒューマン・メタボローム・テクノロ ジーズ(株) 取締役 富田 勝 京都大学大学院医学研究科 細胞機能制御学 教授 野間 昭典 京都大学大学院医学研究科 細胞機能制御学 助手 松岡 達 大阪大学大学院医学系研究科 情報薬理学講座 教授 倉智 嘉久 大阪府立成人病センター 臨床検査科 部長 中島 弘 慶応義塾大学医学部医化学教室 教授 末松 誠</p>
---------------------------------------	--	---

3. 技術講習会

開催日	テーマ & 演 題	コーディネータ&協賛企業&講 師
<p>平成16年 7月8日(木) 参加者 30名 G35</p>	<p>「GFPを使ったFRETイメージング—生きた細胞で情報伝播を可視化する」</p> <p>—演 題—</p> <p>技術解説：GFPを使ったFRET実験—原理とコツ</p> <p>実習</p> <ol style="list-style-type: none"> ① FRETイメージング中の細胞培養法の注意点と、立体画像の構築法 ② FRET画像の処理法とマクロの上手な使い ③ 二分子FRET法の利点と限界 	<p>大阪大学微生物病研究所 腫瘍ウイルス分野 教授 松田 道行 —講 師— 大阪大学微生物病研究所 腫瘍ウイルス分野 教授 松田 道行 大阪大学微生物病研究所 腫瘍ウイルス分野 講師 中村 岳史 大阪大学微生物病研究所 腫瘍ウイルス分野 助手 大場 雄介 大阪大学微生物病研究所 腫瘍ウイルス分野 助手 黒川 量雄 —協賛企業— オリンパス株式会社 日本モレキュラーデバイス株式会社 横河電機株式会社</p>
<p>8月11日(水) 8月12日(木) 参加者 30名 G36</p>	<p>「質量分析を中心としたプロテオミクス解析法」</p> <p>—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺伝子発現制御ネットワーク同定のためのマイクロアレイ解析 ・データマイニング手法を駆使したマイクロアレイ解析 ・知識情報（パスウェイ情報など）を活用したマイクロアレイ解析 	<p>徳島大学分子酵素学研究センター 教授 谷口 寿章 —講 師— 徳島大学分子酵素学研究センター 教授 谷口 寿章 徳島大学分子酵素学研究センター 助手 山内恵美子 徳島大学分子酵素学研究センター 助手 日吉 峰麗 理化学研究所 播磨研究所 研究員 小西 博昭 理化学研究所 播磨研究所 研究員 松崎 英樹 理化学研究所 播磨研究所 研究員 岡田 ひとみ —協賛企業— サーモエレクトロン株式会社 アマシャムバイオサイエンス株式会社 日本ミリポア株式会社 横河アナリティカルシステムズ株式会社</p>

<p>平成17年 1月19日(水) 参加者 28名 G37</p>	<p>「一分子顕微蛍光法とその応用」</p> <p>—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全反射蛍光顕微鏡による蛍光1分子可視化法 ・細胞内1分子可視化計測法の応用 ・蛍光相関分光法の原理と応用 	<p>大阪大学大学院生命機能研究科 ナノ生体科学講座 助教授 佐甲 靖志</p> <p>—講師—</p> <p>大阪大学大学院生命機能研究科 助教授 佐甲 靖志</p> <p>大阪大学大学院生命機能研究科 博士研究員 上田 昌宏</p> <p>北海道大学電子科学研究所 助教授 金城 政孝</p> <p>—協賛企業—</p> <p>オリンパス株式会社 カールツァイス株式会社 株式会社ニコンインステック ライカマイクロシステムズ</p>
<p>2月10日(木) 参加者 46名 G38</p>	<p>「RNAiの技術応用(Ⅱ)」</p> <p>—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・線虫におけるRNAiの技術応用 (実験の実演、及び実験のポイント解説) ・植物におけるRNAiの技術応用 (技術解説) ・哺乳類培養細胞におけるRNAiの技術応用 (実験の実演、及び実験のポイント解説) 	<p>東京大学大学院医学系研究科 特任助教授 宮岸 真</p> <p>—講 師—</p> <p>京都大学大学院医学研究科先端領域融合医学 研究機構 特任助教授 田原 浩昭</p> <p>横浜市立大学医学部薬理学講座 助手 小倉 顕一</p> <p>奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエ ンス研究科 研究員 三木 大介</p> <p>東京大学大学院医学系研究科 特任助教授 宮岸 真</p> <p>—協賛企業—</p> <p>株式会社iGENE エア・ブラウン株式会社 株式会社ニッポンジーン 和光純薬工業株式会社</p>

4. 新適塾

(1) 千里神経懇話会 コーディネーター：大阪大学大学院医学系研究科 教授 遠山 正彌

開催日	テーマ & 演 題	オーガナイザー & 講 師
<p>平成16年 5月20日(木) 参加者 56名</p>	<p>「細胞内小器官のストレス応答—生と死を制御する 新たなシグナル伝達」</p> <p>—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Bcl-2ファミリー蛋白質による細胞死制御 ・小胞体におけるBcl-2ファミリーによるカスパー ゼ-7活性制御機構の解析 ・オートファジーの分子機構とモニター方法 	<p>奈良先端科学技術大学院大学 今泉 和則</p> <p>—講 師—</p> <p>大阪大学大学院医学系研究科 遺伝子学講座 清水 重臣</p> <p>岐阜大学大学院医学研究科 神経生物分野 中川 敏幸</p> <p>東京都臨床医学総合研究所 代謝制御研究部門 水島 昇</p>
<p>7月8日(木) 参加者 57名</p>	<p>「大脳辺縁系と機能蛋白質—可塑性・薬物依存」</p> <p>—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神経可塑性におけるニューロプシンの役割 ・大脳辺縁系の発育・分化と記憶形成に果たすHCNP 関連成分の役割 ・薬物依存におけるTNF-αとtPAの役割 	<p>奈良先端科学技術大学院大学 塩坂 貞夫</p> <p>—講 師—</p> <p>奈良先端科学技術大学院大学 バイオサイエンス研究科 田村 英紀</p> <p>名古屋市立大学医学部神経内科 小鹿 幸生</p> <p>名古屋大学大学院医学系研究科 鍋島 俊隆</p>

10月1日(金) 参加者 53名	「精神疾患における神経ペプチドの新たな役割」 —演題— ・神経ペプチドPACAPによる精神機能調節 ・脳発達障害と脳腸ペプチド ・扁桃体機能障害と神経ペプチド	大阪市立大学大学院医学研究科 木山 博資 —講師— 大阪大学大学院薬学研究科 神経薬理学分野 橋本 均 大阪市立大学大学院医学研究科 システム神経科学 渡辺 恭良 国立精神・神経センター 神経研究所 和田 圭司
11月29日(月) 参加者 39名	「転写因子と細胞分化」 —演題— ・転写因子による網膜発生の制御機構 ・bHLH因子による神経分化制御	奈良県立医科大学解剖学第二講座 和中 明生 —講師— 大阪バイオサイエンス研究所 発生生物学 古川 貴久 京都大学ウイルス研究所 増殖制御学研究室 影山 隆一郎
平成17年 1月14日(金) 参加者 58名	「肥満と摂食障害の脳メカニズム」 —演題— ・生体エネルギー代謝に及ぼすAMPキナーゼの調節作用 ・摂食調節機構研究の展開 ・動物モデルを用いた摂食障害の研究	和歌山県立医科大学解剖学第二講座 仙波 恵美子 —講師— 自然科学研究機構生理学研究所 発達生理学研究室 生殖・内分泌系発達機構 研究部門 箕越 靖彦 宮崎大学医学部第三内科 中里 雅光 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 切池 信夫
3月9日水 参加者 48名	「ペインリサーチ 基礎から臨床まで Part 7」 —演題— ・炎症性/神経因性疼痛におけるMAPキナーゼの役割 ・痛覚の可塑性へのグリア細胞の関与：電位イメージングによる解析 ・がん性疼痛管理の現状と機序に基づく治療について	兵庫医科大学解剖学第二講座 野口 光一 —講師— 兵庫医科大学解剖学第二講座 小畑 浩一 福井大学工学部 知能システム工学科 池田 弘 国立がんセンター中央病院 疼痛治療・緩和ケア科 下山 直人

(2) 21世紀の薬箱

開催日	テーマ & 演題	世話人 & 講師
第59回 平成16年 5月31日(月) 参加者 24名	「腸管感染症：開発途上国と日本の抱える問題」 —演題— ・医薬品は「設計」できるのか？ ・ゲノムインフォマティクスの将来展望とその医薬品開発への貢献に対する期待	大阪大学大学院薬学研究科 教授 那須 正夫 —講師— 神戸市環境保健研究所 企画情報部 飯島 義雄
第60回 7月5日(月) 参加者 35名	「情報化時代における医薬品開発の現状と将来」 —演題— ・医薬品は「設計」できるのか？ ・ゲノムインフォマティクスの将来展望とその医薬品開発への貢献に対する期待	大阪大学大学院薬学研究科 教授 高木 達也 —講師— 田辺製薬(株)研究本部 清水 良 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 黒川 顕
第61回 9月21日(火) 参加者 21名	「回収カプセル型生物実験衛星は21世紀のくすり箱か？ —動物実験衛星計画について—」 —演題— ・関西圏に「宇宙ライフサイエンス/バイオ・創薬産業拠点」を構築する提案 ・回収カプセル型生物実験衛星構想について—宇宙環境利用への新たな挑戦とその実現に向けて—	大阪大学大学院薬学研究科 教授 山元 弘 —講師— 北海道立衛生研究所健康科学部 (兼)NPO法人北海道宇宙科学技術創成センター 矢野 昭起 三菱重工業(株)宇宙機器設計課 松本浩明

第62回 11月25日(木) 参加者 26名	「閉鎖型生態系実験施設—ミニ地球とは?—」	大阪大学大学院薬学研究科 教授 那須 正夫 —講師— (財)環境科学技術研究所 環境シミュレーション部 篠原 正典
第63回 平成17年 1月31日(月) 参加者 47名	「脳機能障害とミトコンドリア」 —演題— ・アルツハイマー病とミトコンドリア障害 ・神経細胞障害とミトコンドリア遺伝子	大阪大学大学院薬学研究科 教授 松田 敏夫 —講師— 金沢大学大学院自然科学研究科 田熊 一敬 摂南大学薬学部薬理学研究室 荻田 喜代一
第64回 平成17年 3月3日(木) 参加者 18名	「汚染物質の環境動態 —放射能と風送ダストを例として」	大阪大学大学院薬学研究科 教授 那須 正夫 —講師— 気象研究所 地球化学研究部 五十嵐 康人

5. 千里ライフサイエンス市民公開講座「成人病シリーズ」

コーディネータ：国立循環器病センター名誉総長 尾前 照雄 先生

開催日	テーマ & 演題	講師
第40回 平成16年 5月15日(土) 参加者 201名	『骨・関節の病気』 —演題— ・開催にあたって ・骨粗鬆症と高齢者の身長低下について ・もう怖がらなくてもよい関節リウマチ ・骨・関節のリハビリテーション	—講師— (財)千里ライフサイエンス振興財団 理事長 岡田 義雄 産業医科大学整形外科 教授 中村 利孝 国立相模原病院 院長 越智 隆弘 大阪医科大学リハビリテーション科 助教授 山口 淳
第41回 10月9日(土) 参加者 87名	『糖尿病の予防と治療』 —演題— ・開催にあたって ・糖尿病の昔と今 ・糖尿病と動脈硬化 ・生活習慣病と上手につきあって20年 —糖尿病患者会の人たち—演題は未定	—講師— (財)千里ライフサイエンス振興財団 理事長 岡田 義雄 九州大学 第二内科 講師 清原 裕 国立循環器病センター 動脈硬化代謝内科 部長 吉政 康直 国立循環器病センター せんり会 会長 安田 英夫
第42回 平成17年 2月19日(土) 参加者 116名	『食欲の調節と障害』 —演題— ・開催にあたって ・良い肥満と悪い肥満 —脂肪細胞が決める生活習慣病 ・ダイエットと健康 —拒食症から肥満まで— ・食欲調節のしくみとその臨床応用	—講師— (財)千里ライフサイエンス振興財団 理事長 岡田 善雄 (財)住友病院 院長 松澤 佑次 大阪市立大学大学院医学研究科神経精神医学 教授 切池 信夫 中村学園大学大学院栄養科学研究科 教授 坂田 利家

6. 千里ネイチャー・カレッジ

回数/開催日	テーマ	参加者	
		生徒	指導員
第1回 平成16年 5月22日(土)	『野鳥・昆虫・植物の観察』 箕面駅→みのお山荘→オケ原池→こもれびの森 →地獄谷→箕面駅 (4.5 km)	38名	30名
第2回 7月18日(日)	『サルの観察(Ⅰ)』 箕面駅⇄滝安寺⇄箕面滝⇄百年橋⇄天上ヶ谷 (サルの餌場) (往復7.5 km)	35名	28名

第3回	10月10日(日)	『サルの観察(Ⅱ)& シンクスタディーと修了式』 箕面駅⇄滝安寺⇄箕面滝⇄百年橋⇄天上ヶ谷 (サルの餌場) (往復7.5km) (チャーターバスにて千里ライフサイエンスセンタへ) シ ンクスタディーと修了式	35名	32名
-----	-----------	---	-----	-----

7. 千里ライフサイエンスフォーラム

開催月日	テーマ・演題	講師	参加者
141回 平成16年 4月14日(水)	『傘から見た日本人』	大阪大学社会経済研究所 教授 大竹 文雄	36名
142回 5月21日(金)	『顔は人を語り、文化を伝える』	大阪大学大学院人間科学研究科 教授 大坊 郁夫	30名
143回 6月18日(金)	『大阪ことばの変遷と分布』	大阪大学大学院文学研究科 教授 真田 信治	33名
144回 7月22日(木)	『ワーグナーに見るドイツ浪漫主義につい て』	京都産業大学 名誉教授 マンフレッド・フーブリヒト	138名
145回 8月27日(金)	『不眠社会の眠り考—睡眠の謎』	大阪バイオサイエンス研究所 研究部長 裏出 良博	47名
146回 9月22日(水)	『につぼん電化史—電気はどう日本人の 意識と生活を変えてきたか—』	関西電力(株)秘書室 マネージャー 西村 陽	34名
147回 10月29日(金)	『マヤ文明』	国立民族学博物館 教授 八杉 佳穂	35名
148回 11月26日(金)	『マリア・カラス 大いなる幻影』	演劇・音楽プロデューサー 山下 徹	30名
149回 12月17日(金)	『骨折り損にならないために』	大阪大学大学院歯学研究科 教授 米田 俊之	41名
150回 平成17年 1月21日(金)	『清酒発祥の地は伊丹 —その歴史背景を探る—』	小西酒造(株)伊丹酒造組合 顧問 藤本 武史	47名
151回 2月15日(火)	『日本に生きる中国系の人々 —華僑華人を通してみる日本—』	国立民族学博物館 助教授 陳 天璽	26名
152回 3月18日(金)	『カブキの時代のミヤコ』	大阪大学大学院文学研究科 教授 奥平 俊六	37名